

41歳



早瀬武洋さん

13 地域伝統文化の後継者育成

新田人形浄瑠璃芝居相生文楽は、幕末から明治時代初期に村の青年たちが立ち上がり、健全なまちづくりのために人形を揃えたことが始まりだと言われています。関東で生まれ育った早瀬武洋さんは、両親が実家のある智頭町に移住して創業したパン屋を継ぐために新田集落に移住してきました。「集落で大切にされてきた文化を、同世代の仲間と一緒にしっかりつないでいきたい」と、パン屋に加えて、人形浄瑠璃の継承にも取り組んでいます。



41歳



吉澤太基さん

14 特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実

那岐地区五月田集落にある極楽寺の副住職である吉澤太基さん。お父さまが58歳の若さで亡くなられたこともあり、健康には特に気を使ってきたそうです。「自分の身体とはいっても、すべてを自分一人で管理するのは難しい。健診の時にいろいろとアドバイスをもらえるので助かっています」と話します。まちでは、町民のみなさんが健やかに暮らしていくための健診や健康教室などを充実させています。

37歳



島田晋輔さん・理笑さん
・一三三くん・至くん

12 空き家バンクの充実

空き家バンクを活用し、一家で智頭町に移住してきた島田晋輔さんは、奥様の理笑さん、一三三くんと至くんとの4人家族です。コンサルタントをする晋輔さんは、旧那岐小学校の一室を借りてオフィスにしています。「仕事で都会と行き来する生活ですが、こちらでは野菜を分けてもらうこともよくあり、家主さんや集落のみなさんにはとてもよくいただいています」と晋輔さん。まちでは空き家の実態把握を進め、移住促進へとつなげています。



15 多様な消費者ニーズに応える農産物づくりの推進(自然栽培)

「食」「農」「命」「医」「心」の5つのテーマからなる連続講座「智頭自然栽培塾」を受講したことをきっかけに、自然栽培での農業を始めた前田賢太郎さん。自然栽培の畑で野菜に加えて藍の生産も行っており、藍染継承の取り組みにも協力しています。まちではこうした自然栽培農家の育成をサポートする取り組みを進めています。

42歳



前田賢太郎さん

35歳



草刈庄一さん

11 木材利用の推進

智頭杉を使った曲げわっぱなどの木工品を製作している木工職人の草刈庄一さん。智頭農林高等学校で行われていた天川敏之先生の講座に参加したことが、曲げわっぱづくりを始めるきっかけだったそう。今では自分の工房を立ち上げ、多種多様な木材を使い木工品を生産しています。まちでは、このように智頭の森林資源を、様々な方法で利用することを応援しています。



16 林業の郷

林業を学びたい人、里山で暮らしたい人、地域の人に向けて、自然を親しむきっかけとなる講座を公開で開催する「智頭の山人塾^{やまひと}」。林業の基礎から草花の知識など、子どもから大人まで楽しめる内容です。事務局の米井美由紀さんは「身近にある智頭の自然から、学びや楽しみを見つけられることが本当にうれしい」と話します。自然の中で暮らす楽しさを伝えるだけでなく、林業の担い手育成や移住促進にもつながっている智頭らしい取り組みです。



43歳



米井美由紀さん

30歳

子どもを産むなら / 安心して子育てするなら

移住・定住するなら ⑫

チャレンジするなら

農林業をはじめるとなら ⑪ ⑮ ⑯

地域の助け合いを支えるために

40歳

健康に生活するために ⑭

●生涯学習のステージづくり ⑬

仕事を続けられるように

地域資源を活かした仕事を続けられるように

50歳